

龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例第19条及び同条例施行規則第11条の規定による「財政運営影響額」の公表資料

1. 事業概要

予算措置：龍ヶ崎市一般会計当初予算

【件名】校内ネットワーク整備工事

金額：373,512千円

期間：令和元年度～令和2年度

2. 財政運営影響額

(1) 投資的経費

本事業における初期投資的費用は以下のとおりである。

年度	項目	金額(千円)	備考
令和2年度	実施設計, 整備工事	373,512	
	合計	373,512	

※予算措置は令和元年度。

(2) 経常的経費

当該施設における「維持管理にかかる経常コスト」は、10年目は2,738千円、20年目は3,025千円、30年目は3,343千円、30年間のトータルでは87,113千円と試算した。

「事務・事業運営にかかるコスト」は、10年目は15,104千円、20年目は16,684千円、30年目は18,427千円、30年間のトータルでは480,379千円と試算した。

「償還金等」は、耐用年数を考慮し、償還期間を10年として試算した。また、大規模改修を15年目に行うこととし、16年目から償還が開始されるものとして試算した。

「年別合計」の試算結果は、10年目は36,541千円、20年目は30,624千円、30年目は21,770千円、向こう30年間のトータルでは865,155千円と試算した。

(3) 更新費用

「大規模改造・更新にかかるコスト」については、耐用年数及び学校施設の長寿命化を踏まえ、15年目に更新することとして試算した。

### 3. 事業の目的及び社会的便益等

国は、Society5.0時代に生きる子供たちの未来を見据え、児童生徒向けの1人1台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想をまとめ、実現に向け地方財政措置を講ずることとしている。

現在、市はタブレット端末等をリースにより配備するとともにICT支援員を配置し、ICT教育を進めているが、今般のGIGAスクール構想を念頭に、令和2年度に校内ネットワーク整備工事を行い、令和5年度までに全ての児童生徒に学習用端末を配備する。

これにより、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、小中一貫教育を進めていくうえで、義務教育機関の9年間、切れ目のない発達段階ごとに応じた思考力や表現力・コミュニケーション力等を高めることができる。